

「住宅リフォーム資金助成条例」 を市議会に提案

議案提出権を行使

日本共産党市議団



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

日本共産党議員団は、議案提出権を活用し、今議会に「北茨城市住宅リフォーム資金助成条例」を提案しました。12月7日の議会初日、本会議において福田明議員が説明した提案趣旨の概要を紹介します。

これまで議会のたびに

この制度については、議会のたびに、一般質問などでその実現を市長および市執行部に強く求めてきました。これに対する市の答弁は、毎回のように「他市の状況をみながら検討していきたい」ということでした。しかしながら、いまだに

市側からは、その検討の結果報告も、実施するような動きもみられません。そこで今回、日本共産党市議団として議案提出権を行使し、この条例の成立をはかりたく提案するものです。

市民と市内業者を応援

この条例は、市民が市内の施工業者に発注して、個人住宅の改良や改善工事をしたばあい、経費の一部を

助成するものです。市民の生活環境の向上に資するとともに、市内施工業者の振興をはかることを目的としています。

対象は、市民が所有する自己の住宅、および集合住宅においては専有部分とします。助成金の額は、対象工事経費の10%。最高10万円を限度とします。

大きな経済効果

この条例が施行されれば、リフォーム関連の建築業はもとより、配管工事や電気工事関係、さらには家具店など多岐の業種に経済効果が波及し、市内産業全体の活性化を促進することになります。すでに3年前から実施している常陸太田市では、助成額に対して約20倍の経済効果があったと報告

され、その効果が実証されています。

市内業者からは「この制度が実現できれば、住宅に関するほとんどの工事に該当し、施工業者の立場からもお客様に提案の幅が広がり、たいへん喜ばれる制度となることは間違いない」と期待の声を寄せられています。また、リフォームを

予定している市民からは、「制度ができれば改修時期を早めたい」との声も寄せられています。まさに、業者からも市民からも喜ばれる制度です。

党派をこえた賛同を

予算枠は当面、500万円を予定していますが、常

陸太田市や全国の事例から推計して工事受注額は約20倍の1億円が見込まれます。本市の財政負担は小さくても、経済波及効果はたいへん大きなものです。財源は当初予算で組まれた予備費5000万円の一部を充てることで、まったく問題なく実施できる内容です。

長引く不況で市民所得が減少し、市内経済が低迷している今日、この制度の実施は、地域経済の活性化をうながし、何よりも市民の立場にたった施策として多くの市民の共感を得るものと確信します。議員各位の党派を越えた賛同を心からお願ひして、提案理由の説明とします。

やらば、哀しみの青春

～NOといっつ勇氣をもとつ～

夜回り先生
講演会

夜回り先生こと水谷修氏の講演会が11月30日、北茨城高校で開かれました。同校の生徒と保護者、一般参加者あわせて500名の席が埋まりました。断片的な紹介になりますが、次のようなメッセージが心に残りました。(鈴木やす子記)

いわきの港は薬物の密輸港として有名であり、茨城県にも流れている。

すべて競争の社会で、父親は上司に、夫は妻を、母親は子をなじって、そんなとき「夜の世界」の人がやさしい言葉で近寄ってくる。教育再生会議などで議論



北茨城市女性連盟
10周年記念のつどい

12月3日、市民ふれあいセンターで、北茨城市女性連盟10周年記念事業が開かれました。第一部では連盟作成のビデオ「北茨城日和」が上映され、第二部では、マイク真木氏の歌と講演。ハワイでの生活体験をまじえ、ここ北茨城の自然の豊かさを生かしてほしいと話されました。

しているようだが、今は制度をいじるときではない。いじめは社会の縮図そのもの、大人たちの関係の反映だと考えるべき。家庭だけで考えるのではなく、社会全体で子どもたちを宝だと思い、接してほしい。日本もそんなに捨てたものではない。少しやさしくなって皆で声をかけあえば、きっと変わる。